

# 重症筋無力症と筋萎縮性側索硬化症の神経反復刺激試験 に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2018年1月15日～2022年3月31日

## 〔研究課題〕

重症筋無力症と筋萎縮性側索硬化症患者の神経反復刺激試験における減衰応答に関する後向き研究

## 〔研究目的〕

神経反復刺激試験という検査は重症筋無力症（神経と筋肉の接合部分の炎症により、疲れやすくなったり力が弱くなったりする）の診断のために用いられています。また、筋萎縮性側索硬化症（運動神経が障害され、手足・のど・下の筋肉や呼吸に必要な筋肉がだんだんやせて力がなくなってしまう）の診断のために同検査が有用であることが、これまでの研究で報告されています。神経に繰り返し電気刺激をすると、筋肉の反応が徐々に弱っていく現象（漸減応答）が特徴的ですが、検査する筋肉や疾患による違いがあるかはわかっていません。この研究ではそれを明らかにすることで、重症筋無力症や筋萎縮性側索硬化症の診断・治療をより確実にします。

## 〔対象・研究方法〕

2009年以降に当科を受診された重症筋無力症と筋萎縮性側索硬化症の患者様のカルテを振り返り、神経反復刺激試験が行われた筋肉ごとに漸減応答の違いを検証します。既に行われた診察・検査のデータを用いるので、患者様に新たなご負担はありません。

## 〔研究機関名〕

帝京大学医学部附属病院 神経内科

## 〔個人情報の取り扱い〕

個人情報は匿名化し、集計されたデータのみが扱われるため、患者様の個人情報が脅かされる心配はありません。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願ひ申し上げます。

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者：帝京大学医学部附属病院 神経内科 主任教授 園生雅弘

研究分担者：帝京大学医学部附属病院 神経内科 修練医 上田優樹

住所：173-8606 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 7066〕